

(様式1)

## 令和3年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)  
富山県総合運動公園 都市計画課

2 施設所在地  
富山市南中田

3 施設設置年度  
平成5年度

4 設置目的  
平成12年に開催された2000年とやま国体のメイン会場として整備された県内最大級の運動公園

5 施設概要  
敷地面積：46.0ha  
主な施設  
・陸上競技場：37,344㎡ 400mトラック9コース、インフィールド芝生舗装（106×70m）観客席約25,000人収容可能  
・補助競技場：23,598㎡ 400mトラック7コース  
・屋内グラウンド：6,354㎡  
・芝生スポーツ広場：12,630㎡  
・多目的広場：軟式野球場2面等 38,000㎡  
・クロスカントリーコース：2.1km

6 指定管理者  
公益財団法人富山県民福祉公園

7 指定期間  
5年  
平成29年4月1日 ~ 令和4年3月31日

### 8 利用者数及び利用（使用）料金収入の状況

#### (1) 利用者数（人）

H29	H30	R1	R2	R3
782,121	824,451	825,440	659,124	690,456

#### (2) 利用（使用）料金収入（千円）

H29	H30	R1	R2	R3
23,240	23,892	22,414	20,238	21,394

#### (3) 利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）

H29	H30	R1	R2	R3
19,234	19,234	19,412	19,591	19,591

## 9 評価項目

### (1) 利用者数・収入の増減に対する評価

・利用者数は令和2年度比104.8% (31,332人増)、有料公園施設の料金収入は令和2年度比105.7% (1,156千円増)となった。  
・新型コロナウイルスの感染拡大が続き、キャンセルや大会の規模縮小、人数制限等はあったものの、陸上やサッカーの大会開催や個人利用の増加などから利用は増加に転じた。また、冬期間においてクロスカントリーコースのウォーキング・ランニング利用も多く見られた。

### (2) サービス向上に向けた取組み

・ホームページやSNSを活用し、草花の開花状況や利用状況の案内、イベントのPR等を行った。  
・令和3年度新たに、地区住民からの要望をもとに企画したヨガ等の体験講座「スタジアムDEフィットネス」や、木々の特徴等を学びながら園内を散策する「樹木医と木間間(きまま)にウォーキング」を春と秋に開催し、好評を得た。

### (3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

・各競技団体の要望に応じ、休園日の開園や開閉園時間の弾力的な運用により大会運営に協力した。  
・冬期間に人気が高い屋内グラウンドについて、12月から2月まで無休で営業した。  
・富山県公式ウォーキングアプリ「元気とやまかがやきウォーク」のミッション機能を活用したイベントを令和元年度から継続して開催した。  
・児童生徒の施設見学、保育所・幼稚園の遠足や運動会などでの平日利用促進に努めた。特に、近隣の四季防災館とイタイタイ病資料館と連携し、小学校校外学習時の昼食会場としての利用をPRしたところ、多くの利用があった。

### (4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

#### ① アンケート結果

実施方法	①公園利用者アンケート（5月1日～31日、11月1日～29日） ②講座等参加者アンケート（4月～12月の計7回） ③公園認知度アンケート（12月19日フェアレ富山）
回答者数	①416人 ②252人 ③326人
結果	①「元気とやまかがやきウォーク」イベント期間中ということもあり、ウォーキングイベントの継続開催を希望する意見があった。 ②満足度は高く、また参加したいという意見が多かった。 ③行ったことのある公園で179人、一番よく行く公園で31人の回答を得た。イベント情報収集方法について、テレビ、市報・フリーペーパー、インターネットの順となり、市報やフリーペーパーが意外と高いことが分かった。
結果を踏まえた改善事項	・イベント等の参加者の満足度は高いため、令和4年度もさらに内容を充実させて継続開催予定。 ・公園認知度は高いとはいえ、インターネットやフリーペーパー等も活用して周知を図っていく。

#### ② その他利用者の声を反映させる取組み

・近隣地区自治会代表等による総合運動公園利用促進協議会を2回開催した。  
・競技団体との会議を開催し、意見を聴取した。  
・ホームページからの意見・要望を随時受け付けるとともに、意見箱を2か所設置している。

③主な苦情と対応

- ・園内樹木の根の生長により、側溝を押しつけて隣家の庭に進出している。⇒速やかに根切りを行い、側溝を復旧した。
- ・道路の白線が消えかかっており夜間の走行に支障がある。⇒すぐに引き直した。

(5) 個人情報保護の取組み

- ・個人情報に関する指針を定め、職員に周知を図っており、適切な個人情報保護が図られている。

(6) 関係団体との連携

- ・陸上競技場をホームスタジアムとするカターレ富山のホームゲーム時に企画実施された各種イベントに全面協力を行った。
- ・利用者や地元自治会のボランティアにより、清掃、防犯パトロールなどを実施した。

(7) 施設・設備の維持管理

- 適切に維持管理を行っている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

- 非常時の緊急連絡網、非常管理マニュアルを作成するなど、適切に危機管理・安全管理に取り組んでいる。

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有/無	回数(有の場合)
有	12
有	6
無	-
無	-

【トラブルの具体的内容と対応】

-

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

- ・「新型コロナウイルス」に伴う利用者数や料金収入については、改善の兆候が見られる。指定管理者では、大型の試合・大会の誘致や利用の少ない冬期間のイベント等を行っており、利用促進と利便性の向上に努めていることが認められる。
- ・今後とも、富山県のスポーツの中核施設として、利用の呼びかけやニーズ把握を積極的に行い、利用促進・利用者へのサービス向上に努めるとともに、全国規模の大会会場としてふさわしい施設の維持に努めてもらいたい。